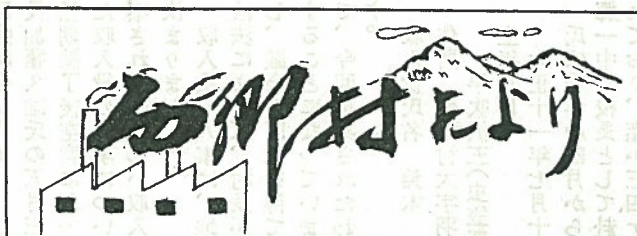


西郷村の人口及世帯数 (46.8.1現在)

世帯数	2,222
人口	10,406
男	女
5,152	5,254



発行日 昭和46年8月25日

発行所
西郷村役場
(電話磐城熊倉)
1番・2番・7番
編集発行
企画課
印刷所
ワタベ印刷所



写真：西郷村内の谷地に多く発生している「さざさう」の花です。村の開発で谷地がつぶされ、又つぶされない所でも、多くの人にねらわれて、村のさざさうは急激に減少しつつあります。この気高くも可憐なさざさうを何とかして村にばいにかせたいものです。

保護しよう 西郷の高山植物



村の課題は青年課題

村政担当者と青年会との交流会開かる

六月二十日、村長、助役、教育長の村執行部及び、村議会議員を招いて、青年会婦人会が交流会を開催した。新築の生活改善センターの研修室をフルに活用して広範にわたる問題について話し合いが行なわれた。

この交流会は青年会が發起人となって、計画されたもので「これからの西郷」というテーマの下に、種々の問題について話し合いが持たれた。

まず、新しい村議会議員さんから、抱負をきき、続いて分科会に移った。分科会のテーマは四つに分れ、①地域住民の問題点、②文化活動と体育振興、③農業問題、④私達青年をどう見るか。の各項目について、討議された。

その後全体会に移り、分科会で討議された内容について報告があり、全体的な意見の発表が行なわれた。最後に、今迄討議された問題に関連して村長の講話があり、日程を終った。

討議内容について、細部までお知らせできないのは残念ですが、大きく見て一つの流れがあるように思われた。

村の執行部と、村議会議員の多くの方々から出された村政の施策は、大体一つの方向を指向しており、地域開発の目標としては、住みよい村、文化の香りの高い村の建設を目指している。その為の施策としては、教育の問題、社会福祉の問題、環境整備の問題、産業振興の問題、どれに関連する公害防止の問題等多くの問題が出された。中でも、農業の改善とそれに関連する土地基盤の整備の問題、道路の整備の問題、公害のない工場の誘致の問題は、重要問題として取り上げられた。又後継者が喜んで定着するよう、そして、村の青年の配偶者が喜んで来るような、魅力のある村、魅力のある家の建設が叫ばれた。これに対し、青年の側からの反応は、必ずしも、すっきりとした形となつて現れなかった。そこには、問題の渦中にある者の悩みがはつきりとうかがわれた。

米作農家の規模拡大の困難性、新しい作目導入の見とおしと技術の問題、農業をやめて他産業に転換すべきかどうかの決心の問題、農業後継者の配偶者を得ることの困難性、転換期の農家の「家」の問題、青年人口の稀薄化と、他産業への転換による青年の孤立化の問題等、今の青年達にはいろいろな形の重圧がのしかかっている。そこには、いわゆる行政施策のみで解決し得ない問題が横たわっている。それは、残酷な表現かも知れないが、青年自身の決心と努力にまつほかないものがあるように思われる。そのことは、村長や議員さんのお話しの中にも職業選択の決心と、経営者としての研究、努力の必要性という形で、要望されていた。

このことは、裏返して表現すれば、新しいものを生み出すための苦しみとも解釈される。そしてこのことは、単に青年達にのみ要求すべきことではなく、この変革期にあつては、村民全部が青年となつて生みの苦しみをなめるべきときであると思われる。そして、青年を外側からのみ批判することをやめて、問題を一番痛切に味わっている青年と、一体となつて進むことの必要性を痛感した次第である。

村議会報告

新しい収入役きまる

総合開発審議会条例など制定

七月五日、村議会の第四回臨時会が開かれ、前収入役加藤久雄氏の五月三十日任期満了後空席になっていた収入役の人事について提案され、新しい収入役が決まりました。

収入役の人事は、地方自治法によれば、村長が選任し、議会の同意を得て決定することになっていますが、今回提案されたわけで

収入役氏名 鈴木 義一
住所 西郷村大字羽太字
早吹沢五(虫笠部落)
生年月日
大正十一年七月十三日

氏は今年の四月から、西郷一中の校長として赴任されており、僅か三四ヶ月で転進することの可否について論議が集中しましたが、後任校長人事に最善を尽くすという条件として、全員一致で同意を得られました。氏は、虫笠の出身で西郷二中の先生として、前後三回にわたり赴任されており、多くの村政になじみ

た。

▽契約金額二千二百四十九万四千円也

▽契約の相手方

白河市の株式会社共栄工務店 中村 朝次

▽工期 七月三十一日から十二月二十五日まで

又電気設備工事は、百十三万円で白河市の株式会社

国民健康保険税条例の一部改正について

国民健康保険税の課税額の決定は、毎年、予想される療養給付費などの歳出から、国庫支出金などの収入を差し引いて、課税予算額を出し、更にそれに、減税を予想される金額を加えてなされることになっていました。その課税総額を満たし得る税率の決定が、法に定められた方法によって算定され、条例の改正によって毎年きめられるしくみになっていました。

●小田倉小学校屋内運動場の新築工事の請負契約について
小田倉小学校の屋内運動場は七月二十八日、指名競争入札に付されましたが、条例の定めるところにより一千万円以上の契約ということで議会上に提されまし

白河電設 相笠忠一 と同じ工期で契約

以上が議決決定されました

この屋内運動場は村内三つの中学校と熊倉小学校に

続いて五つ目のもので、鉄骨造り七四五㎡の立派な屋内運動場ができることになりました。

●所得割額の課税率を、百分の二・一三から百分の一・二六に引き下げた。
所得割額の割当総額は昨年度と殆んど変わりありませんが、被保険者の所得額の上昇によって、逆に課税率は引き下げられることになったものです。

●資産割額の税率を百分の三五・七九から、百分の三一・六四に引き下げた

これも総額では、昨年度と殆んど変りませんが、所得税額が上昇したので、それに乗ずるべき税率は逆に引き下げられたわけですが。

●被保険者均等割額を一人一千九百七十三円から一人二千四十五円に引き上げた。

これも総額では殆んど昨年度と変りませんが、被保険者の数が減少したので一人当りの割当額は多くなっています。

●課税額の最高限度を五万円から八万円に引き上げた。
定められた税率によって算定された課税額が、高額の場合五万円を打ち切り引上げたのが、八万円まで引き上げられた。これは税法の改正によって為された改正です。

●低所得世帯に対する減税額が改正された。
低所得世帯に対しては規

準を設けて、被保険者の均等割額と、世帯平等割額を減額することになっていますが今回その減税高を増額するよう改正されました。

なお、四十六年度の一世帯当り、平均課税額は、二万一千二百七十二円で、西白河郡平均の二万六千四百二十一円をかなり下まわり、白河市、西白河郡の中で、最低の課税額となっています。

国民健康保険条例の改正について

今回の改正は、児童福祉施設に入所していたり、里親に委託されている児童で扶養義務者のない者、養護老人ホームに収容されている、その施設の長の意見で村長が定めた者つまり、国と県が、法律に基づいて、養護することが明確である者については、国民健康保険の被保険者としないうことが規定されました。又助産費、育児手当金、又は葬祭費が同一の事件について他の社会保険によって支払われた場合は、国民健康保険では重複して支給しないことが定められました。

◎ 開発関係条例の制定と廃止について

今回、西郷村総会開発審議会条例が制定され、同時に、西郷村工場誘致条例と西郷村都市計画審議会条例が廃止されました。

村の開発計画を樹立してそれを実行して行くことは村長を頭とする執行機関の仕事ですが、このことを、現在の変転する世の中にあつて、調和と均衡を保ちつつ、円滑に推進してゆくためには、広く村内全般からの意見を集め、西郷の土に根ざしつつ、かつ、広く遠い展望の上に立つて運営されたい。又審議事項は、総

合開発計画の作成と実施、都市計画に關すること、白河地方広域市町村圏に關すること、農業振興に關すること、工業開発に關すること、観光開発に關すること、東北自動車道インターチェンジ周辺の整備に關すること、公害対策に關すること、他のことなっています。

村の総合開発計画の樹立については、既に、今年度予算に、委託費が計上されていますが、専門の學者、學生をメンバーとするコンサルタントによつて、広い学問的な視野に立つて作業を進め、その中に、この審議会によつて西郷の土に根

ざす意見をもちこんで行くことになります。又、昭和四十四年の地方自治法の改正により、市町村は、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、議会の議決を経て、行政の基本構造を定め、これに即して行政をすすめて行くよう規定されていますが、この原案を審議するものもこの審議会の役目となります。この基本構造にもとづいて、具体的な、実施計画も作られることとなります。以上の案件が可決され、村政も、新しい展開を見せつつ動きはじめました。

収入役就任あいさつ

鈴木 義一



残暑お見舞申し上げます。

この度本村収入役に選出され、去る七月二十二日に就任いたしました。

私

西郷第一中学校校長を最後に二十五年間の教育界生活に別れをつけましたが、この間みなさま方から公私共に暖かいご指導をいただき大過なく終ることができましたことを心から感謝いたしております。

今回はからずも、全く未経験の新しい職務につくことになり、その職責の重大さを深く感じております。

特に本村は各方面にわたつて発展され、それにとともに、予算の規模も年々増大し村勢伸長の姿を見せ、その財政を担当する者として益々その責任の重大なることを痛感しております。

村民のみなさんの大切な台所をあずかる身として、懸命に努力をいたす覚悟でありますので、先任者同様、ご支援のほどをお願い申し上げます。

このあいさつといたします。

税務署だより

税金はみんなのために使われる

国や地方公共団体は、道路や住宅をつくったり、学校を建てたり生活に困っている人の援助をしたり、いろいろな仕事をしています。

このような仕事に使われるお金は、大部分が私たちが納めた税金でまかなわれています。

昭和四十六年の国の一般会計予算は約九兆四千百十

住宅と税金

①土地を買ったり家を建てたりして登記をするときは登録免許税がかかります。

税率は、売買による所有権移転の場合は固定資産評価額の五%、新築家屋の所有権の保存登記の場合は〇・六%です。

②土地や家屋を手に入れた

三億円でこのうち約九割が税金です。

私たちの納めた税金は、国のいろいろな仕事を通じて、私たちの生活をより豊かにするために使われています。これを税金千円あたりの使いみちにしてみると昭和四十六年度予算で次のようになります。

国民の健康や生活を守るため 一七九円

住宅や道路などの整備のため 一七七円

教育と科学技術の振興のため 一一五円

国土防衛のため 七一円

地方財政の援助のため 二一八円

国債の償還、利子の支払

8月は個人事業税の納期です

納税は必ず納期に納めましょう。

個人事業税第1期の納期は、

8月31日までです。

納期内の納税にご協力下さい。

<白河県税事務所>



いなどのため 三四円
その他 二〇六円
合計 一、〇〇〇円

新しいスポーツ

アーチェリー(洋弓)の 競技場が誕生

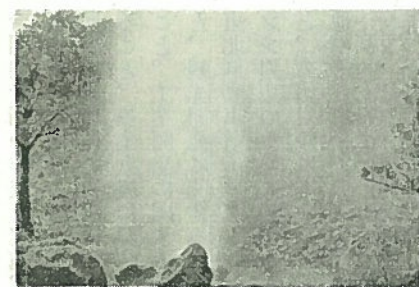
甲子高原の一角に、耳新しい名前の「アーチェリー・フィールド・レンジ」が誕生しました。

これは、白河高原ゴルフ場の手前である、報徳農園の共有林約五町歩を活用して、農園の一員である荒谷幸作氏が代表となつて、作り上げたもので、規定の二十八コースの中、半分の十四コースがこの程完成し、これを二回反復使用することによって、競技が可能となったので、オープンされたものです。



アーチェリーは、来年のミュンヘンオリンピックでも競技種目の中に加えられるっており、わが国でも、近年学生を中心としてめきめき競技人口のふえて来た新興スポーツです。日本の弓よりも小型で、力もいらす誰でもすぐ入れるような、極めて一般向のスポーツです。これを同じ矢場でばかり射たのでは単純で歩きやすいので、自然を生かした林の中で、上を向いたり、下を向いたり、谷を越えたりという地形の変化をたのしみながら次々とコースを進みその総合得点により、勝負を競うように設けられたのか、このアーチェリーフィールドです。

正式の名前は、「白河高原アーチェリーフィールドレンジ」、全国で七番目に全日本アーチェリーコース連盟によって公認されたものです。



農山村は過疎に泣き、都会は公害にうめいている今日、都会の人達に、自然を破壊されない姿で提供し、それによって地元もうるおうような構想は、極めて有意義なものといえましょう。又地元の青年男女も、気軽にこれに参加でき、明るくたのしい農村生活を、送る有力な一助となることと

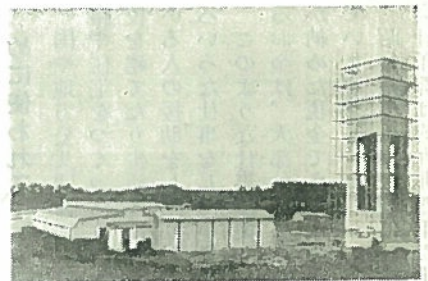


台上に温泉が 続々

本村の台上地区に進出し日本の畜産経営のモデル農場としての東亜農公園や、大規模のレジャー施設を計画している東亜相互企業株式会社に

思います。
新しい農山村の生き方の一例として注目されるものといえましょう。

既に東京などのブレイカーも訪れ、地元からも申しこみ者がつめかけ、又甲子を訪れる人達も、気軽にたのしんで帰るといったわけで、活気を呈しています。



は、地区内の各地に温泉を掘削しているが、既に黒森に二ヶ所、種畜牧場芝原分場から台上へ行く途中に一ヶ所、優秀な温泉を掘り当てている。

これは大きな槽を組んで地下六百メートルから九百メートルのボーリングをして掘り当てたもので、地下で五十数度、地上へ揚げても四十六度程度の優秀なもの。湯量もかなり豊富で、飯の湯舟にとびこんで、露天風呂としゃれこむ人もいる。

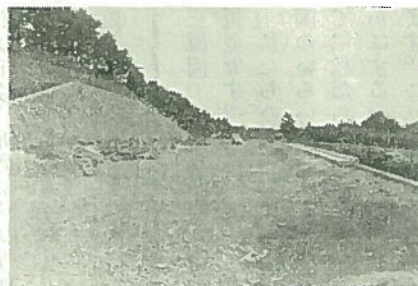
泉質は、炭酸泉で、無色無味無臭、さらっとしたさ

写真上は

建設中の東亜農公園

わやかさは、いかにも高原の湯にふさわしい。同会社では更に次々とボーリングを試み、地区内十数ヶ所に温泉を湧出させ、青少年育成センターや、レジャーセンターなど種々の施設に役立てる計画という。

四号国道から台上に至る二十米幅の幹線舗装道路も、着々建設が進み、農公園の



畜舎、機械倉庫、飼料処理場、配水塔などの施設も、近代的な美しい姿を一つ一つ現し始めている。

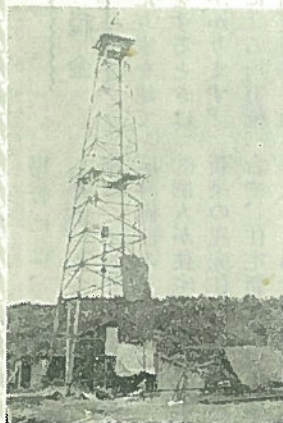
このような大規模な開発は、村では初めてのことでこの会社の発展の如何が、村の開発に大きく響いてくるだけに、諸方面から大きな関心が寄せられている。

写真上は

国道四号線から台上に通ずる幹線道路

写真下

地下九百メートル掘削した第三号温泉

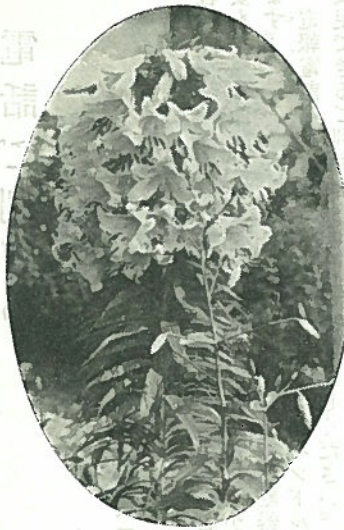




山百合一株に 百個の花

上新田の公営住宅に住む堀越良光さんの庭に、山百合が一株に百十何コかの花をつけた。

昨年までは普通の山百合だったのが、今年は芽が出てから、何だか太さが違い堀越さんの奥さんは、たのしみにして手入れをつづけていた。やがて芯が立って蕾が出て来た。次から次へと出るわ出るわ、なんと百を越える蕾がふくらんで来た。それが次々と開いて全



山百合の花

部見ごとに咲き揃った。その強烈な芳香は堀越さんの庭はおろか、団地全部にただよい、近所の評判となった。

村を花で美しく

老人クラブ立ち上がる

甲子街道を新甲子へ向って車を走らせて行きますと車窓にちらりちらりと、鮮やかな花壇がとびこんできてドライバー達の目をたのませてくれます。

花は、真紅のサルビヤと濃いオレンジ色のマリーゴールドです。よく見ると、下に西郷村寿会と書いてあって、はあ老人クラブの皆さんが作って下さったんだと察せられます。

これは、西郷村老人クラブ



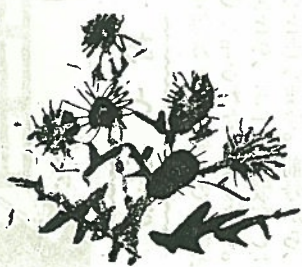
これをききつけたテレビや新聞社でも取材におしかけ、堀越さんの庭は時ならぬにぎわいを見せていた。

ブ連合会の皆さんが、この七月の初旬に甲子街道沿線十六ヶ所に植えられたものです。昨年亡くなられた下羽太の鈴木重次さんのご遺志で、ご子息の鈴木重晴さんから三万円のご寄付があったのを基金にして、寿会の年中行事にしようとして発足したものです。

レジャーブームの波は、私達の村にもひたひたと押

し寄せています。その主眼とするところは、自然と人間との対話です。自然の語りかけを、日常のいそがしい生活で、かさかさに乾燥した胸にうけとめて、人々はあるおいを得て帰りますその自然の中に、ちらりほらりと、人間の植えた花壇がありますと、人々は、自然の語りかけの中に、暖かい人の語りかけをも感じることでしょう。

レジャーブームの中で、レジャー産業が叫ばれています。けれどもレジャー産業そのものも、このような暖かい心の語りかけがなければ、健全な発展は望めないのではないのでしょうか。私達もみんな、老人クラブの皆さんの暖かい心を見習って、自然を大切に、村を美しくするように心がけようではありませんか。



国鉄からお願い

踏切事故防止 にご協力を

当地区で、踏切事故を起しているのは自家用車だけで営業車はありません。特に自家用車を運転されるドライバーの方は次の事項についてご注意下さい。

◇無理な踏切通行は危険です。

▽踏切の直前で、必らず停止しましょう。そして自分の目と耳で、列車がくるかこないか確かめましょう。

▽列車が通過してもその直後に、反対側から列車が近づいていることがあります。両方向に注意しましょう。

▽警報機が鳴っているとき、断機がおりはじめてからは、たとえ列車が見えなくても、踏切に入るのはやめましょう。

▽踏切を渡るときは、踏切の先の交通状況にも注意しましょう。先が混雑しているとき、そのまま進むと、自分の車が踏切内に残ることになりますから、発進はやめましょう。

◇踏切で動けなくなったら

▽踏切でエンストなどのため、動けなくなったときはまず、列車を止めることを考えましょう。

▽この場合は直ちに踏切の横にある赤色のボタンを押して下さい。ボタンは下り線側の踏切に設けられている警報機の柱の青い箱の中にあります。

▽ボタンを押すときは、カバーを押して割って、中のボタンをもどらなくなるまで強く押して下さい。ボタンが有効になると、側面のランプが点灯のままとなります。

▽ボタンを押すと、附近の発煙筒が発火すると同時に信号機が赤になります。

▽ボタンを押したら直ちに駅へ連絡して下さい。連絡先はボタンの下に書いてあります。

▽このボタンは非常の場合以外は絶対に使用しないで下さい。

【注意】

この装置は複線区間(東北本線)の警報機のついてる踏切だけに設けられています。それ以外の踏切で動けなくなったりときは、信号炎管や赤旗などを列車に向かって円形に振って危険を列車に知らせして下さい。

電話ご利用の

お客様にお願い

白河電報電話局

〇〇番願います

情報化時代ともいわれる
社会生活のなかで電話の需
要も急速な伸びを見せてい
ます。

電報電話局ではお客様に満足できるご利用をいただくためいろいろな検討を行

供に努めております。電話
はお互い顔が見えないだけ
にむずかしい面もあります

電話のマナーを身につけ
いつでも、どこでもだれ
とでも"ご利用できるため
つぎのことにご留意し、な
お一層のご協力をお願い
いたします。

▽市外通話の申込方法

ご自分の局名と番号を最初に、つぎに相手の局名を

(例) 釜の子六十番から白出

うに変わりますので、お間違
いのないようお使いください。
い。

☆市外局番が変わります

新しい市外局番矢吹（〇二四八四）になります。

☆市内局番が つきます

矢吹地区と矢吹地域集団
電話は二局になります。

中畑地区は三局になります。

☆電話番号が変ります
全部四ケタの新しい番号
に変わります

☆電話帳、ご入用の方は

矢吹、中畑の臨時電話帳を必要の方は白河電報電話局か磐城熊倉郵便局へお申し出ください。

矢吹、中畑が
自動電話に

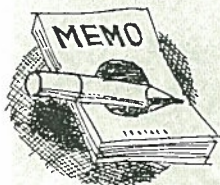
9月22日午後2時から

矢吹町のうち、矢吹地区

および中畑地区の電話は、
九月二十二日午後二時から

自動になります。

自動電話の開通にともない、ご利用の方法が次のよ



あ
と
が
き

▽毎月一回の発行のおかげが
つい守られなくなりました。
何とか、月一回を厳守した
いと思います。前号から、
綴じ孔をあけてお配りして
います。青い表紙もお配り
しましたので、綴じておい
て下さい。

▽わが村にも、いろいろな新しい動きが出て来ました。今度取り上げた「村の話題」は期せずして、情報化時代に關係のあるものばかりとなりました。それにして、戦後二十六年、あの頃、肉体を維持するための衣食住にきゅうきゅうと悩んでいたのにひきくらべ、この話題は何と変わったものではない。村の話題を編集しながら、感慨を新たにしました。

▽青年会婦人会と村政担当者との交流会を傍聴しながら、各層の交流、話し合いの大切なことを痛感しました。広報の仕事は、お知らせと同時に、対話がなければなりません。住民の側からのご意見、感想、文芸作品、村の何かの紹介など、何でも結構ですからお寄せ下さい。

日	曜	行	事
七	(木)	定例町村会、安全の日、県知事四号国道巡視	
二	(金)	那須町庁舎視察、議会委員長会議	
三	(土)	小田倉小学校屋体起償ヒヤリング	
四	(月)	村議会第四回臨時会	
五	(火)	日本温泉協会総会、消防団長会議	
六	(水)	村遺族会総会	
八	(木)	国道二八九号線道路整備期成同盟会	
九	(金)	赤面林道陳情県庁へ、防衛施設庁ヒヤリング	
一〇	(土)	夏の事故防止打合会	
一	(日)	県林業協会役員会、一市二郡議長会総会	
二	(月)	助役、総務課長會議	
三	(火)	建設省、地方道課で村視察来庁	
四	(水)	西郷村青年会球技大会、真船公民館落成式	
五	(木)	消防幹部会、新庁舎特別委員会	
六	(火)	たばこ小売人組合総会	
七	(火)	低開発地域工業開發促進協議会先進地視察	
八	(金)	県選挙管理委員会の村長選開票事務審査	
九	(土)	県知事と出先機関の長との懇談會	
一〇	(日)	議会議務、財務委員会、国保運営協議会	
一一	(月)	米生産調整現地確認	
一二	(火)	地域振興青年指導者ゼミナール（みやま荘）	
一三	(水)	県道路協总会	
一四	(木)	県納税組合表彰式	
一五	(金)	東北新幹線停車駅陳情、収入役鈴木義一就任	
一六	(土)	戸籍事務連合会総会	
一七	(日)	県道丹津羽鳥白河線改良陳情	
一八	(月)	農免農道陳情のため県庁へ	
一九	(火)	県国土調査推進協議会総会	
二〇	(水)	白河地方広域市町村長會議	
二一	(木)	赤面山総合開発KK株主總會	
二二	(金)	小田倉小屋体外入札	
二三	(土)	有線放送運営委員會	
二四	(日)	村議会第五回臨時会、県国保団体連合会総会	
二五	(月)	町職員球技大会	

七月の行事報告